

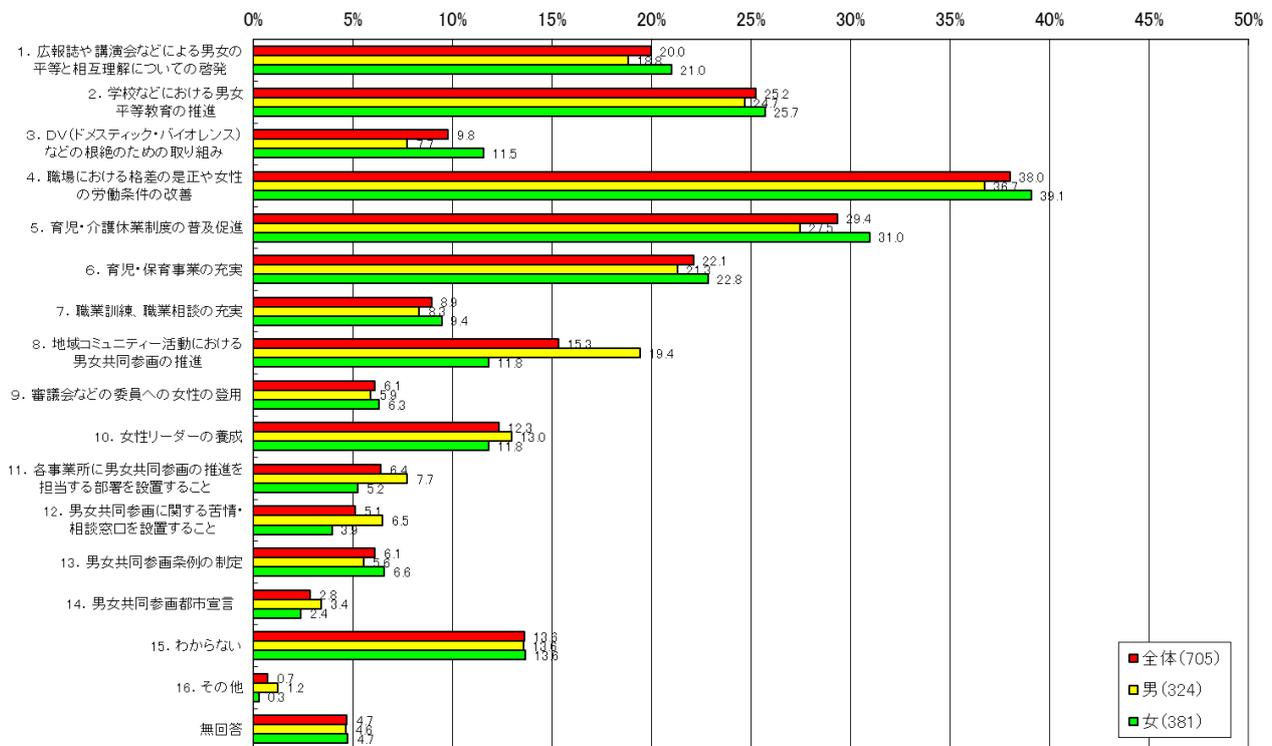
8 男女共同参画の推進について

8-1 男女共同参画社会の実現に向けた必要な取り組み

問25 男女共同参画社会の実現に向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

【全体】

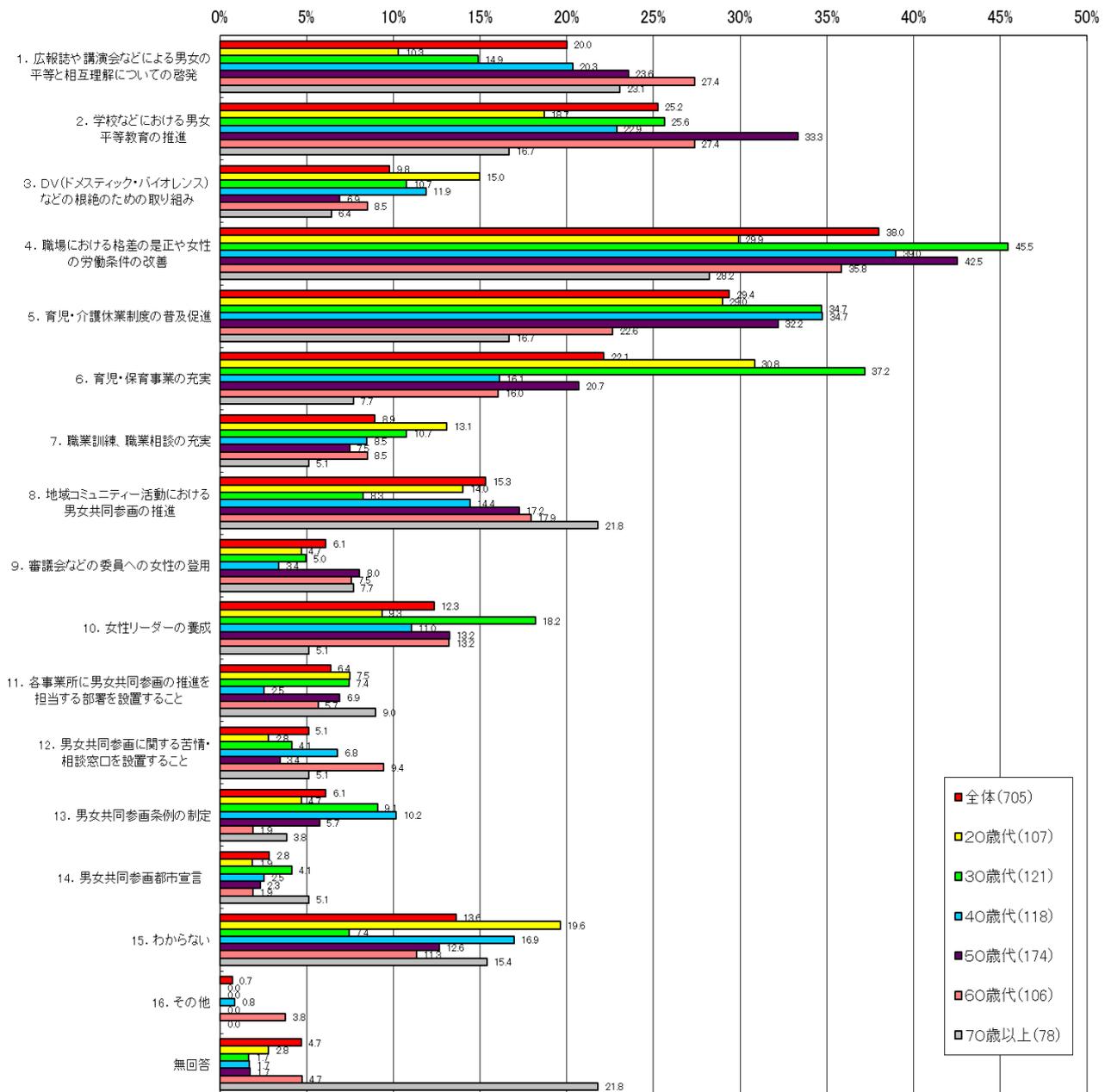
「職場における格差の是正や女性の労働条件の改善」の割合が38.0%と約4割を占め最も高く、次いで「育児・介護休業制度の普及促進」の割合が29.4%、「学校などにおける男女平等教育の推進」の割合が25.2%の順で多くなっています。



【性別】

「地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進」と回答した割合は、男性回答者が19.4%であるのに対して、女性回答者が11.8%と、男性回答者と女性回答者のポイント差が大きくなっています。

「DV（ドメスティック・バイオレンス）などの根絶のための取り組み」（男性7.7%、女性11.5%）、「育児・介護休業制度の普及促進」（男性27.5%、女性31.0%）と回答した割合は、男性回答者より女性回答者のほうが高くなっています。



【年齢別】

「職場における格差の是正や女性の労働条件の改善」と回答した割合は、30歳代で45.5%と最も高く、次いで50歳代で42.5%となっています。

「育児・保育事業の充実」と回答した割合は、30歳代で37.2%と最も高く、次いで20歳代で30.8%と、若い年齢層で高くなっています。